

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp**7月号**

「子どもを中心に据えた学校づくり」を
がんばりたい

～創立記念式、カイコ～



学校長 鈴木 和枝

6月26日、さわの里小学校は16回目の創立記念日を迎え、21日には創立記念式を放送で行いました。計画、準備に取り組んだのは児童運営委員会。

「校長先生、校長室に、さわ小が誕生したときの資料は何かありませんか？ぼくたち、創立記念式の準備をするために資料を探しているんですけど。」と4人の子どもが校長室を訪ねてきたのは、6月始めでした。前身校の2校の再編統合について検討を重ねたことが記されている紙面、学校の沿革が記されているもの、校歌や校章制定、開校に関わる文書、卒業アルバム等々に、子どもたちは食い入るように見入り、「へえ～、こういうものがあるなんて初めて知った。」「オリエンテーリングってこの頃からあったんだね。」などと、気付きがいっぱいの様子でした。当日に向けて何日もの間、資料を繰り返し調べ、準備を進める姿は、やらされている姿ではなく、楽しみながら自分たちで創り出している姿であり、その真剣な横顔はとてもきれいでした。当日は、放送室から全校のみんなに、わかったことを基に作成したクイズを出題し、教室からの楽しそうな歓声が放送室まで響いていました。

さて、3年生の教室、廊下には、今いろいろな生き物がいます。その成長や変化は、子どもたちにたくさんのことを教えてくれています。中でもその変化が著しいものの一つが「カイコ」。最初は、吹けば飛んでしまいそうな小さな小さな幼虫だったのが、自分の体の何倍もの大きさがあるクワの葉を食べ、脱皮をして大きくなり、さらにクワの葉を食べ脱皮、成長を繰り返しています。最初は、決して「カイコ」を育てることに一生懸命な子ばかりではなかったと思いますが、今、子どもたちはその姿、繭の出来上がっていく過程に夢中です。休日、ましてやこの暑さの中では教室に置いておけないことから、空気穴を空けた箱を家から持ってきて、それにお引越しをさせて家に持ち帰って世話をしている子どももいます。ご家庭によっては、こうしたものが苦手な方もたくさんいらっしゃると思います。もしかしたら、「どうしても家に連れて帰りたい。」とおうちの方に頼み込んだ子どももいたかもしれません。

創立記念式を自分たちで一から創った子どもたちも、「カイコ」にのめり込み夢中になっている子どもたちも、みんな大人から「やりなさい。」「やりますよ。」と言われている姿ではなく、自ら動き、自ら活動を創っている子どもの姿です。子どもが自ら動いたときに、学校は子どもにとって楽しい学びの舞台となるのだと考えます。でもそれは、子どもに任せっぱなしであることとは全く異なります。私たちは、その思いや願い、気付きが明確になるよう子どもたちに問いかけ、学びの過程を歩む子どもを支え、子どもが自ら考え、自ら育つ学校づくりをがんばります。